

手軽な震災への備え

浅井 員武（防災士・和光市 BOSAI まちづくり伝道師）

今年、元日早々、石川県能登半島を震源とする最大震度7の大きな地震が発生しました。地震は、私たちの生活にとって最大の脅威のひとつであり、日本ではいつどこで発生するかわかりません。地震で怖いのは「建物倒壊」「火災」「津波」と言われています。たとえ建物に損傷がなくても電気・ガス・水道などのライフラインが長期間使用できなくなることで、首都直下型地震（東京湾北部地震）のとき埼玉県では復旧まで、電気は6日、電話14日、都市ガス55日、上水道30日、下水道30日の日数がかかるとしています。少なくとも私たちは、停電・断水に備える必要があると想定されています。

地震時、和光市ならびにシーアイハイツ和光では、可能な限り避難所を利用せずに在宅で避難することを推奨しています。それは、多くの住民が避難所に殺到することによる混乱と環境変化によって体調を壊す人が多く出ることが予想されるからです。私たちがやるべきことは、防災対策としての家具の固定等、日ごろからの日用品の備蓄、いつも食べている食

品を多めに備えることです。

災害時に必要なものは、7日分以上の食料品（特に防災用である必要なし）、水（一人当たり1日3ℓ×7日分）、カセットコンロ、ランタン、簡易トイレ（災害時トイレ）、乾電池、常備薬、モバイルバッテリーなどです。詳しくは、和光市作成のハザードマップやシーアイハイツ和光震災時マニュアル等を参照してください。

在宅避難では、非常時持ち出し用品は特に用意せず、普段の備品の活用で生活ができるようにします。そこで、手軽に安価で常備可能な防災グッズを（100円ショップで）購入してみました。是非参考にしてください。

プレートの沈み込みに伴うマグニチュード7級の地震が、南関東地域で今後30年以内に発生する確率が70%以上あると考えられています。首都直下型地震は、いつ起こってもおかしくない地震、早急な備えが必要です。

※ 昨年10月の「シーアイハイツ和光防災時行動マニュアル」説明会で話されたF棟の浅井さんに執筆していただきました。（広報委員会）

100均で買える防災グッズ（和光市内での実績）

